

## 第 25 回 小山市地域公共交通会議 議事要旨

### ■開催の概要

1. 日 時：2016. 01. 25（月） 15:30～16:30
  2. 会 場：城山・サクラ・コモンビル 2 階 まちなか交流センター「おやま〜る」内  
小山市市民活動センター 第一研修室
- 出席者：永井副会長  
[委 員]：高橋、西根、田中、佐山、川又、慶野、石井、大森、海老沼、生沼、  
大山、中島、大橋、鉢村、久米、宮本、森戸、鈴木  
[委員代理]：須賀、伊勢、柴田
- （以上 計 24 名）

3. 議 題：（1） 国庫補助事業に係る事業評価について  
（2） 羽川線の路線再編について  
（3） 間々田線バス停の統合について  
（4） その他
4. 報告事項：（1） デマンドバスの主要施設の追加について  
（2） 新市民病院への運行状況について  
（3） デマンドバスの時刻表の見直しについて  
（4） その他

### ■議事要旨

#### ●議 題

##### （1） 国庫補助事業に係る事業評価について

資料 1-1、1-2 に基づき、国庫補助事業に係る事業評価について以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

○資料 1-1 は新市民病院開設によるバス路線再編前の内容である。「地域の公共交通の現況」、「事業の目的・必要性」、「事業の概要」は前年度と同様である。

なお、以下のとおり資料の訂正があった。

○資料 1-1 の P 1、「事業の概要」の「路線型バス」内の事業者名「小山中央観光」は、バスを加筆し、「小山中央観光バス」に訂正をお願いします。

○資料 1-1 の P 1、小山市の面積「171.61 ㎡」とあるが、「171.76 ㎡」に訂正をお願いします。市町間の境界変更などがあり、変更となった。

#### [主な質疑応答]

##### <資料 1-1. 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について>

（委員）資料 1-1 の P 4、5 の「⑤目標・効果達成状況」が B、C などと評価が異なる場合、「⑥事業の今後の改善点」での対策が違うものになるのか。

→（事務局）間々田東西線に関しては、今年、路線が再編され、新市民病院にバスが行くようになったことを踏まえ、引き続き PR などの利用促進を積極的に行っていきたいと考えている。

また、バスの利便性を図るといふことはどの路線にも言えるので、対策の基本的な考え方は同じである。具体的な改善策については路線に合ったものを加筆させていただきたいと思っている。

(委員) 間々田東西線と思川駅線の「⑤目標・効果達成状況」の評価がそれぞれC、Bとなっているが、違いはどのようなものか。また、間々田東西線の設定目標が高すぎるということはないか。

→ (事務局) 地域の利用対象人口の程度によって、設定目標を路線ごとに定めているので、評価にも違いが出るということである。

○間々田東西線については、利用者の設定目標が165人に対し、平成27年実績が66人/日で約3割(27%)である。また、ルートは新興住宅地を通っており、沿線の利用対象人口が多いことや、通学利用者が減少してはいるが、小山南高校にもバスが行っていることから、思川駅線や道の駅線などよりも高い設定目標としている。故にC評価としている。

○思川駅線については、同一路線一車両で運行している体制を取っており、設定目標130人に対し、平成27年実績が98人/日で7割強(約75%)である。

○思川駅線、道の駅線については、住宅が点在している農村部を通るルートであるので、間々田東西線と比較すると、沿線の利用対象人口が少ない中で利用人数が多いので、B評価とした。

(委員) ABCの評価の基準はどういったものなのか。また、間々田東西線については、「⑤目標・効果達成状況」ではC評価となっているが、「④事業実施の適切性」ではA評価となっているのは何故か。

→ (事務局) A: 達成されている、B: 概ね達成されている、C: 達成されていない、という評価基準となっている。

「④事業実施の適切性」については、事業計画通り全ての路線で実施をしたので、A評価としている。間々田東西線の「⑤目標・効果達成状況」では目標を達成できていないのでC評価としている。

(委員) 計画通りに運行していれば、「④事業実施の適切性」ではA評価となるのか。

→ (事務局) その通りです。

(委員) 「⑤目標・効果達成状況」でB評価以下であるならば、「⑥事業の今後の改善点」の部分にはその計画の改善などについての文言が入っていた方が良いのではないか。

(委員) 評価についての具体的な基準を資料に書き入れ、わかりやすくした方が良いと思う。

→ (委員) 現状では、事務局の評価となっている。今後利用が増える可能性があればB評価でも良いと思う。あまりにも達成度が低いのであれば、路線沿線の利用対象人口を鑑みつつ、目標変更を検討すると良いと思う。

(委員) 前々年度から利用者が増加傾向であればB評価としても良いと思う。

(委員) それぞれの評価基準、特にB評価の基準の割合についての注意書きや、事務局としての判断基準などの加筆をお願いしたい。

→ (事務局) わかりました。加筆・修正させていただきます。

## <その他について>

(委員) 間々田駅や、思川駅の拠点性を向上させるようなプロジェクトは小山市で検討・実行されているか。

→ (事務局) 間々田駅周辺は市街化区域であり開発を進めており、思川駅周辺では区画整理事業が行われている。それらにより、その地域に住む人口が増えればバスの利用率も向上すると思う。但し、思川駅線・道の駅線については、農村部を走っているルートであるので、大幅な利用者の増加は見込めないが、生活の足として必要だと考えている。

また、間々田東西線について補足すると、路線内に学校や事業所があるものの、利用が増えない状況であったが、新市民病院が開業されたことに伴う路線再編や、新興住宅地へのバス利用促進による利用者増加を目指し、対策や改善をしていきたい。

(委員) JRとの乗り継ぎを踏まえてバスのダイヤを組んでいるのか。

→ (事務局) 1時間あたり3・4本である電車に対し、1・2本は時刻を合わせる形をとっている。但し、路線バスの認知度が上がるとその時刻を変更しづらいという面があり、加えてJRの路線改正やダイヤ変更の周期が短いこともその理由の1つである。

また、在来線より、新幹線の時刻に合わせてほしいとの意見もあるので、JRの運行時刻を参考としながら、路線バスのダイヤ変更を見据えて行く必要があると思う。

## (2) 羽川線の路線再編について

資料2に基づき、羽川線の路線再編について以下のとおり事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

### <運行ルートと時刻表などについて>

- 新ルートのバスの運行については、桑市民交流センター（仮称）の開所に合わせ、4月1日から開始する予定である。
- 桑市民交流センター（仮称）の開設時間（8：30～17：15）に合わせた運行となる。
- 羽川線の時刻表（案）の2、3便（8：00前）と、16、17、18、19便（18：00以降）は、迂回せず直進するルート（桑中学校北、桑市民交流センター前、大沼前を通らないルート）で運行する予定である。
- 桑市民交流センター（仮称）の施設名の愛称を募集中であり、施設名が決まったらその愛称をバス停の名称にしたいと考えている。

### <桑市民交流センター（仮称）前の県道339号線の横断歩道について>

- 1月8日のバス交通整備検討委員会にて、警察から指摘のあった桑市民交流センター（仮称）前の県道339号線の横断歩道設置については、設置しないこととする。その理由としては、同県道では、朝と晩の時間帯には交通量が多いが、8：00～18：00の間は交通量が少ないとのこと、昼間では道路の見通しも良いこと等がある。
- 事故防止の対策として、同県道にバス運行の注意喚起のポスターが掲示されていること、バス車内で注意喚起の放送を行っていく予定であること等が挙げられる。
- その後運行状況を鑑み、改善等の判断していきたい。

### <バス停名変更について>

- 桑公民館の移転に伴い、バス停名を「桑公民館」から「羽川小学校前（仮称）」に変更したいと考えている。
- 板橋医院の廃業に伴い、バス停名を「板橋医院北」から「<sup>かしわばら</sup>檀原神社南（仮称）」に変更したいと考えている。また、バス停名称には、自治会名、土地名が採用される場合や、バス停オーナー制度もあるが、今回はその規模や認知度から「檀原神社（仮称）」とした。
- 現在、「桑中学校北（仮称）」であるバス停は、以前「桑絹商工会前」となる予定であったが、同会商工会が旧桑公民館に移転する計画があるということで、現在の名称となった経緯がある。

### [主な質疑応答]

(委員) 桑市民交流センターの前面道路の横断歩道は設置しないのか。

→ (事務局) そうです。

(委員) 大沼や桑市民交流センターの敷地内にバス停を設けず、前面道路にバス停を設けるということではよろしいか。

→ (事務局) その通りである。バス事業者によると、敷地内にバスを入れることは難しいとのことであったので、バス停は前面道路に設けることとした。

### (3) 間々田線バス停の統合について

資料3などに基づき、間々田線のバス停の統合について事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

○事故の未然防止、運行適正化のため、「小山総合公園」バス停を廃止し、「温水プール館前」バス停に統合したいと考えている。

○温水プール館前からは、小山聖園、県南体育館ともに近い距離にあるため、バス利用者への支障がないと思われる。

#### [主な質疑応答]

(委員) 県南体育館の利用者は、バス停から歩くのが苦にならない方が多いと考えているか。

→ (事務局) その通りです。バス停を統合しても支障はないと考えている。また、聖苑の利用者が多いので、路線や「温水プール館前」バス停については廃止せず、継続する。

(委員) バス停を統合するのはいつ頃か。

→ (事務局) 4月1日の羽川線路線再編に合わせて、同日とする。

(委員) 実際にこの路線バスを運行している友井タクシーの者です。車両で総合公園の敷地内の道路では、場合によって2台並んで停まっている時もあり道を塞ぎ、他の車両が入れない状況となる。その場合、市道40号で車両を止め、乗り降りせざるを得ないこととなり、非常に危険であるので、事故を未然に防止するために、原案の通り変更することとなった。

### (4) その他

(委員) バス事業者の大山タクシーの者です。城東中久喜線の宝島付近（陸橋東交差点）の青信号点灯時間が非常に短いので、何秒かでも長くしてほしいと考えており、事務局に対応していただきたいと思っているがどうか。

→ (委員) 私共小山警察署の管轄となる。その部分の交通量調査を面的に行ってから本部との調整が必要となり、その期間は半年以上となるかもしれない。期待に添えるかどうか分からないが調査結果が出たら、ご報告したいと思う。

## ● 報告事項

事務局より以下の事項に基づき、資料のとおり説明があった。

### (1) デマンドバスの主要施設の追加について

追加される主要施設は以下の2エリアの3箇所である。

①大谷中南部・間々田東部地区エリア : 「新市民病院」「美しが丘整骨院」

②桑・絹地区エリア : 「すぎのきクリニック」

### (2) 新市民病院への運行状況について

○1月4～19日までの新市民病院へのバス利用状況は順調である。

○①市民病院線については、昼頃の市民病院発のバスの利用者が多く満車となるケースが発生しているとのことである。

○②間々田東西線、③小山駅東口・新市民病院循環線、④デマンドバス大谷中南部間々田東部については、順調に運行していると聞いている。

○8:10小山駅西口発の新市民病院行きの便を利用するため、8:10より前に小山駅西口に着く市民病院線の便を追加してほしいという要望（H27.11.15 若木町・花垣町・本郷町自治会合同説明会）についての方策は、路線再編後間もないことから、今後、運行状況の調査・分析などを行った上で、以後のバス整備検討委員会で提案する。

### (3) デマンドバス（大谷中南部・間々田東部地区エリア）の時刻表などの見直しについて

○現在7便である本路線の増便等の改善をしてほしいという要望についての方策は、路線再編後間もないことから、今後、運行状況の調査・分析などを行った上で、以後のバス整備検討委員会で提案する。

[主な質疑応答]: 特になし。

(以上)